



ViPlex Express

LAN ディスプレイ管理ソフトウェア

V1.8.0 NS120300780



ユーザーマニュアル

アップデート履歴

バージョン	配信日	説明
V1.8.0	2019-09-06	<p>5つの機能を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none">● スケジュール管理にあるウィンドウコンテンツに枠の設定を追加しました。● スケジュール管理に折コンテンツを追加しました。● スケジュール管理にアダプティブスケーリングというボタンを追加しました。● 時間同期管理と無線周波数管理に同期再生のオンオフを追加しました。● 端末管理にダウンロード実行ログを追加しました。 <p>1つの機能を最適化しました。</p> <p>サーバー構成のクラウドサービスバインド方法を最適化しました。</p> <p>3つの問題を修正しました。</p> <ul style="list-style-type: none">● JT100 の構成リストが適応されていないケース。● 詳細スケジュールにあるオーディオを再生できないケース。● 一部のフォントのアンダーバーが不連続というケース。
V1.7.0	2019-08-19	<p>追加した 9つの機能は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none">● 端末検索に IP 範囲の指定を追加しました。● 端末管理に強行ログイン防止対策を追加しました。● 端末管理に弱いパスワードの検証を追加しました。● 端末管理に AP パスワードの変更を追加しました。● 再生管理に LED 回転再生を追加しました。● スケジュール管理にウェブページコンテンツを追加しました。● ネットワーク構成にモバイルネットワークの検出を追加しました。

バージョン	配信日	説明
		<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コントロールアダプターTCB300。 機能を 2 つ最適化しました。 <ul style="list-style-type: none"> ● ソフトウェア画面の左上にバージョン番号が表示されるようになります。 ● 言語設定と VPlayer と相互同期します。 問題を 3 つ修正しました。 <ul style="list-style-type: none"> ● Windows 32 bit システムに VPlayer をインストールするときに失敗するケース。 ● 端末のアップグレードファイルを送信完了時にプロセスが 100%ではないケース。 ● 同じ PC でも WiFi ネットワークとワイヤードネットワークを切替ると端末を検索できないケース。
V1.6.0	2019-06-24	4 機能を 4 つ追加しました。 <ul style="list-style-type: none"> ● 端末機能の適応。 ● ワイヤードネットワークのダブル DNS。 ● 回転再生。 ● カスタムテンプレート。 問題を 1 つ修正しました。 <p>ブリリアントワードを透かしにし、大きな背景画像を選択すると文字が黒になるケース。</p>
V1.5.1	2019-05-31	機能を 1 つ追加しました。 <p>ネットワークチェック構成。</p>
V1.5.0	2019-04-30	機能を 6 つ追加しました。 <ul style="list-style-type: none"> ● 韓国語とフランス語。 ● ストリーミングメディア。 ● ViPlex Express のオンラインアップグレード。 ● ページテンプレートの選択。 ● センサーの管理。 ● 環境モニタリングデータの同期。 機能を 5 つ最適化しました。 <ul style="list-style-type: none"> ● 温度コンテンツを環境モニタリングコンテンツとする最適化。 ● スケジュールのエクスポートと USB メモリの再生という 2 つの機能の分割。 ● DHCP サービスのオンまたはオフの画面左下への移動。 ● カラー設定コントロールの最適化。 ● サイズ設定方法の最適化。

バージョン	配信日	説明
		<p>問題を 1 つ修正しました。</p> <p>ViPlex Express をインストール時に PC オペレーションシステムバージョンが条件に一致しない場合のメッセージエラー表示。</p>
V1.4.0	2019-03-15	<p>機能を 2 つ追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スケジュールページのプレビュー。 ● 端末のオンラインアップグレード。 <p>機能を 3 つ最適化しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Office ファイル、画像、ビデオ、GIF の追加機能をまとめてファイル追加とするマージ。 ● スケジュール編集時に Excel のテーブルにすべての列が表示され、テーブル再作成のため瞬間的に高さが調整される。 ● 端末のローカルアップグレード。 <p>問題を 3 つ修正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コンテンツを追加しクリックする際に偶に発生するエラーメッセージ。 ● 一部のフォントを整列できないケース。 ● オーディオ付きのスケジュールの時間を 0 にすると時間を変更できないケース。
V1.3.8	2019-01-11	<p>機能を 5 つ追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● VPlayer のインストールやアップグレード、検索、接続、スケジュール配信。 ● テキストや画像、ウィンドウのバックグラウンドオーディオ追加。 ● 電源の手動コントロール・タイマーコントロール。 ● 無線周波数の管理。 ● 無線周波数ネットワークのメインデバイスおよびスレーブデバイスの時間同期や輝度同期、音量同期。 <p>問題を 2 つ修正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● AP を端末に接続すると共に 1GB 以上のスケジュールを配信時に配信に失敗するケース。 ● スマート輝度調整の複数のルールを様々な繰り返す方法にして適用してもリードバック先の繰り返す方法が変わらないケース。
V1.3.7	2019-01-08	<p>問題を 1 つ修正しました。</p> <p>TB4 の適応。</p> <p>機能を 3 つ最適化しました。</p>

バージョン	配信日	説明
		<ul style="list-style-type: none"> ● 1 部のボタンアイコンに対する変更。 ● 端末にログインするユーザー名を「admin」に固定。 ● 内部ビデオソースの解像度の選択やカスタマイズへの対応。 <p>問題を 1 つ修正しました。</p> <p>ビデオの入ったスケジュールの編集画面における配信を行う際に「転送」をクリックすると「スケジュールリスト転送」のダイアログボックスが消え、ソフトウェアを操作できなくなるケース。</p>
V1.3.6	2018-09-28	<ul style="list-style-type: none"> ● ボード電源のオンまたはオフに対応しました。 ● ページのタイムスケジュール設定に対応しました。 ● タイマーとブリリアントワードのページへの追加に対応しました。 ● ページのコンテンツのクリアに対応しました。 ● 天気の表示スタイルや温度単位の記号の設定に対応しました。 ● スマート輝度の有効日の設定、及びリピート機能を三種類追加しました。 ● 初期スケジュール名の作成などスケジュールの新規作成機能を最適化しました。端末の指定により設定された解像度を記憶し、次回新規作成時のデフォルト値としました。 ● DHCP サービスをオンにする機能を最適化により、PC の IP アドレス選択が必要となりました。
V1.3.5	2018-08-17	<p>無線周波数モジュールのインストール状態の検出に対応しました。</p> <p>問題を 2 つ修正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ビデオソース構成画面で「アプリケーション」をクリックして「読み取り」をクリックすると、画面にエラーが発生するケース。 ● PC オペレーションシステムの小数点を丸い点以外の記号にしたのにもかかわらず ViPlex Express 画面に丸い点が表示されると共に端末の再生で黒画面となるケース。
V1.3.4	2018-07-20	<ul style="list-style-type: none"> ● スケジュール名をクリックすることで編集画面に入るのに対応しました。 ● スケジュールにあるテキストの編集方法と再生方法の最適化に対応しました。 ● スケジュール編集時・保存後の 1 部のプロパティ値の記憶に対応しました。 ● スケジュール編集画面でのスケジュール配信に対

バージョン	配信日	説明
		<p>応しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 配信やスケジュールのエクスポート時に端末の非対応なビデオの自動形式変換に対応しました。 ● スケジュール配信時の配信タスク関連情報の表示に対応しました。
V1.3.3	2018-07-02	<ul style="list-style-type: none"> ● デジタル時計の時間スタイルと表示スタイルの設定に対応しました。 ● 内部ビデオソースの解像度設定に対応しました。 ● スケジュール編集時の画像カットに対応しました。 ● 端末の MAC アドレス表示に対応しました。 ● WiFi AP 状態の設定に対応しました。
V1.3.2	2018-06-08	<ul style="list-style-type: none"> ● 夏時間の表示に対応しました。 ● スケジュールにリアルタイムコンテンツを追加しました。
V1.3.1	2018-06-04	<ul style="list-style-type: none"> ● 外部記憶域情報の表示に対応しました。 ● APN の構成に対応しました。 <p>問題を 4 つ修正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● デジタル時計の間違った曜日表示。 ● デジタル時計の時間表示がセンタリングしないケース。 ● 天気コンポーネントの間違った都市表示。 ● DHCP サーバーとの不安定な接続。
V1.3.0	2018-05-08	<ul style="list-style-type: none"> ● スケジュールにおけるアナログ時計、Office ファイル、RSS の追加に対応しました。 ● スケジュール編集時のコンテンツページのスクーリングに対応しました。 ● テキストの間隔と首尾接続機能の設定に対応しました。 ● デジタル時計の表示内容の設定に対応しました。 ● 天気タグのカスタマイズに対応しました。 ● IP アドレス指定による Taurus 接続に対応しました。 ● DHCP サービスの有効化に対応しました。 ● VNNOX Lite の単独並びに複数のバインドに対応しました。 ● NovaiCare の登録方法を簡素化し、複数操作に対応しました。 ● アップグレード速度を最適化しました。

バージョン	配信日	説明
V1.2.0	2018-01-24	<ul style="list-style-type: none">● コンテンツタイプの追加：時計、天気、コンテナのコンテンツ。● 機能モジュール「詳細スケジュール」が追加しました。● 「再生管理」に「スクリーンショット表示」機能を追加しました。● システム設定に自動再接続機能追加しました。
V1.1.0	2017-11-22	<ul style="list-style-type: none">● 追加した機能モジュール：「輝度設定」、「ビデオソース」、「スクリーン状態コントロール」、「タイマ配置」、「色温度」、「再生ログ」、「フォント管理」。● 変更した機能モジュール：「再生管理」、「再起動配置」、「モニタ」、「ネット配置」、「サーバー配置」。● システム設定に「無線周波数管理」と「カスタマイズサーバー」が追加しました。
V1.0.0	2017-07-20	最初の公式配信。

目次

アップデート履歴.....	i
目次.....	vii
1 ソフトウェアのご案内	1
2 インストールの手順	2
3 コンテンツタイプ	3
4 クイックガイド.....	4
4.1 スケジュールの作成.....	4
4.1.1 一般スケジュールの作成	4
4.1.2 詳細スケジュールの作成	4
4.2 端末に接続	4
4.3 スケジュール配信	6
4.3.1 一般スケジュールの配信	6
4.3.2 詳細スケジュールの配信	6
4.4 再生管理.....	6
4.4.1 Taurus	6
4.4.2 VPlayer	7
4.5 スケジュールのクリア	7
4.5.1 Taurus	8
4.5.2 VPlayer	8
5 スケジュール管理.....	9
5.1 スケジュールの新規作成	9
5.2 スケジュールの編集.....	13
5.3 スケジュールの削除.....	13
5.4 スケジュールのインポート.....	13
5.5 スケジュールのエクスポート	14
5.6 USB メモリ再生	14
5.7 スケジュール配信	15
6 詳細スケジュール.....	16
6.1 スケジュールの新規作成	16
6.2 スケジュールの編集.....	16

6.3	スケジュールの削除.....	17
6.4	スケジュールのインポート.....	17
6.5	スケジュールのエクスポート.....	17
6.6	USB メモリ再生.....	17
6.7	スケジュール配信.....	18
7	端末コントロール.....	19
7.1	ファクションリスト.....	19
7.2	共通機能.....	20
7.3	再生管理.....	20
7.3.1	同期再生オン.....	21
7.3.2	リアルタイムな音量調整.....	21
7.3.3	端末スケジュールの管理.....	21
7.3.4	回転角度の設定.....	21
7.4	輝度調整.....	21
7.4.1	手動調整.....	22
7.4.2	スマート調整.....	22
7.5	ビデオソース.....	23
7.5.1	手動切替.....	23
7.5.2	タイマー切替.....	23
7.5.3	HDMI 優先.....	23
7.6	スクリーン状態コントロール.....	24
7.6.1	手動コントロール.....	24
7.6.2	タイマーコントロール.....	24
7.7	時間同期管理.....	24
7.8	再起動構成.....	25
7.8.1	今すぐ再起動.....	25
7.8.2	タイマー再起動.....	25
7.9	色温度.....	26
7.10	モニタリング.....	26
7.11	再生ログ.....	26
7.11.1	再生ログの表示.....	26
7.11.2	再生ログのエクスポート.....	27
7.12	フォント管理.....	27
7.12.1	フォントの追加.....	27
7.12.2	フォントの削除.....	27
7.13	ネットワーク構成.....	27
7.13.1	ワイヤードネットワークの構成.....	27
7.13.2	WiFi AP の構成.....	28
7.13.3	WiFi Sta の構成.....	28
7.13.4	モバイルネットワークの構成.....	28

7.13.5 ネットワークチェックの構成.....	29
7.14 サーバー構成.....	29
7.14.1 VNNOX Standard/AD にバインド.....	30
7.14.2 iCare にバインド.....	30
7.15 端末アップグレード.....	30
7.15.1 オンラインアップグレード.....	30
7.15.2 ローカルファイルアップグレード.....	31
7.16 電源コントロール.....	31
7.16.1 ボード電源の構成.....	31
7.16.2 手動コントロール.....	32
7.16.3 タイマーコントロール.....	32
7.17 無線周波数管理.....	33
7.18 センサー.....	33
7.19 端末情報.....	34
8 システム設定.....	35
9 オーディオ・ビデオのデコード仕様.....	36
9.1 画像.....	36
9.2 オーディオ.....	36
9.3 ビデオ.....	37

1 ソフトウェアのご案内

ViPlex Express は端末を自動検索して接続し、スケジュール配信や端末コントロールを行うことができる LAN ディスプレイ管理ソフトウェアです。

用途について

ViPlex Express は Windows 版のみ提供し、Taurus や VPlayer など様々な端末を管理できます。

- Taurus シリーズマルチメディアプレイヤーは、Android システムをもとに制作されたハードウェア製品です。同期していないシステムの端末プレイヤーとして LED ディスプレイ (TB6 など) と LCD ディスプレイ (TCB300 など) をローディングでき、モデルによっては対応できる ViPlex Express の機能も異なります。
- VPlayer は Windows と Linux のアプリケーションソフトウェアです。PC の端末プレイヤーとして、ViPlex Express の端末管理や端末アップグレードに対応しています。

Taurus と VPlayer の対応するコンテンツタイプと端末コントロールといった機能は、それぞれ「3 コンテンツタイプ」と「7.1 ファクションリスト」を御覧ください。

主な特徴

- 親しみやすいインターフェースで、ユーザーフレンドリーな UI 設計。
- 操作が簡単で、Taurus にワイヤレスが可能、アクセスも容易。
- 複数のディスプレイで同 1 画面の再生が可能な同期再生に対応。
- WiFi AP と WiFi Sta モードの設定に対応したデュアル WiFi 機能を完備。
- 4G モジュールを持つ端末のモバイルデータネットワークの設定に対応した 4G 接続が可能。
- 同期または同期していないのデュアルモードは、ビデオ出力モードに対応。
- 画面サイズに応じた再生をするアダプティブ再生が可能。
- 端末とのバインドによって、複数端末を VNNOX にバインドして一元的に管理可能。

2 インストールの手順

前提条件

- Framework 4.6.x のインストールされていること。
- Visual C++ 2017 公式版動作時の必要なコンポーネントをインストールしていること。
- ViPlex Express インストールパッケージを取得していること。

ソフトウェアの取得パス

<https://www.vnnox.com/single/download.html>

インストール方法

インストールファイルをダブルクリックし、ガイド画面に沿って ViPlex Express をインストールします。

インストール中に VPlayer もインストールされます。

3 コンテンツタイプ

ViPlex Express の対応するコンテンツタイプ及び Taurus と VPlayer の再生できるコンテンツタイプは、表 3-1 を参照して下さい。

表3-1 コンテンツタイプ

コンテンツタイプ	Taurus LED プレイヤー	Taurus LCD プレイヤー	VPlayer
テキスト	✓	✓	✓
画像	✓	✓	✓
ビデオ	✓	✓	✓
GIF	✓	✓	✓
Office ファイル	✓	✓	✓
デジタル時計	✓	✓	✓
アナログ時計	✓	✓	✓
環境モニタリングコンテンツ	✓	✓	
天気	✓	✓	✓
RSS	✓	✓	✓
タイマー	✓	✓	✓
ストリーミングメディア	✓	✓	✓
ウェブページ	✓	✓	✓
ブリリアントワード	✓	✓	✓
ウィンドウ	✓	✓	✓
コンテンツ折	✓		✓

4 クイックガイド

本章ではユーザーが ViPlex Express の基本機能をスムーズに行えるよう、ViPlex Express を用いたスケジュール作成、Taurus 及び VPlayer に配信して再生する方法についてご説明いたします。

4.1 スケジュールの作成

4.1.1 一般スケジュールの作成

「スケジュール管理」を選択し、「[5.1 スケジュールの新規作成](#)」の操作を行います。

4.1.2 詳細スケジュールの作成

「詳細スケジュール」を選択し、「[6.1 スケジュールの新規作成](#)」の操作を行います。

4.2 端末に接続

必要な情報

[表 4-1](#) に記載した情報の実際値を取得してください。

表4-1 必要な情報

種別	アカウント名	初期パスワード
Taurus WiFi AP に接続	AP+SN 後ろの数字 8 桁 例：AP10000033	12345678
Taurus か VPlayer にログイン	admin	123456

端末に接続

ViPlex Express は複数の Taurus または VPlayer に接続できます。

- Taurus の場合は、以下のいずれか 1 つの方法で接続してください。
 - Taurus の WIFI AP を用いた接続
 - ルーターを用いた接続
 - LAN ケーブルを用いた接続

PC および Taurus を LAN ケーブルで直接接続したい場合は、画面の左下にある DHCP サービスをオンにし、ローカル IP アドレスを選択して「確定」をクリックしてください。Taurus に自動接続されますが、接続が不安定な際は PC で静的 IP アドレスにしてください。

説明：DHCP サービスをオンにする前に、PC のファイヤーウォールをオフにするか ICMP エコーのポリシーを設定してください。


- VPlayer の場合は、ViPlex Express と 1 緒に以下の場所にインストールしてください。
 - 同 1PC
 - 同 1LAN の異なる PC
 - ping が通るセグメントの異なる PC




端末にログイン

手順 1 ViPlex Express を開きます。

手順 2 「更新」をクリックし、スクリーンリストを最新の情報に更新します。

ViPlex Express において端末が検出されたら、デフォルトアカウントか前回ログインしたアカウントで自動ログインを 1 回試行します。

端末と ViPlex Express はセグメントが異なり ping が互いに通る場合は、「更新」の右側にある  をクリックして「IP の指定」を選択し、IP アドレスか IP 範囲を入力して手動接続を行います。


-  : 端末がオンライン中、ログイン可を表します。手順 3 に沿って実行してください。
-  : 端末がオフライン中、ログイン不可を表します。
-  : 端末へのログインが完了したことを表します。

手順 3 スクリーン情報の後ろにある「コネクトをする」をクリックします。

手順 4 「admin」ユーザーのパスワードを入力し、「確定」をクリックします。

ログイン完了後、ViPlex Express ではアカウント情報を自動保存します。

関連操作

ログイン完了後、パスワードが弱いパスワードと検出された場合は、端末名の右側に  が表示されます。セキュリティを高めるには、より複雑なパスワードに変更することをお勧めします。

スクリーン情報を右クリックすると、関連操作が表示されます。

- 終了：ログインが終了します
- 名前の変更：端末の名前を変更します
- パスワードの変更：Taurus WiFi AP に接続するパスワード及び「admin」ユーザーのログインパスワードを変更します
- パスワードをお忘れの場合：前回ログイン完了時に保存したパスワードを削除します
- 実行ログをダウンロード：端末の実行ログをダウンロードします

4.3 スケジュール配信

- スケジュールにコンテンツを追加しないと配信できません。
- 1回当たり端末に送信できるスケジュールは1つのみです。
- スケジュールは1つ当たり複数の端末に送信できます。

配信完了後、端末はスケジュール関連ファイルをローカルにダウンロードします。

ファイルの保存パスを設定する方法は以下の通りです。

- Taurus：対応しません。
- VPlayer：右上にあるをクリックして「設定」を選択し、「ダウンロード」を選択します。

4.3.1 一般スケジュールの配信

「スケジュール管理」を選択し、「[5.7 スケジュール配信](#)」の操作を行います。

4.3.2 詳細スケジュールの配信

「詳細スケジュール」を選択し、「[6.7 スケジュール配信](#)」の操作を行います。

4.4 再生管理

4.4.1 Taurus

「ターミナルコントロール> 再生管理」を選択します。以下操作は「[7.3 再生管理](#)」を参照して下さい。

- 同期再生をオンにします
- リアルタイムな音量を調整します
- 端末スケジュールを管理します
- 回転再生を設定します

4.4.2 VPlayer

再生ウィンドウの設定

- 手順1 VPlayer をオンにします。
- 手順2 「再生ウインドウ」を選択します。

図4-1 再生ウインドウ

構成 再生ウインドウ

デスクトップと同様にする 有効

X 0 Y 0


W 400 H 400

最前面へ移動 常に しない 再生時のみ

確定 リセット

- 手順3 再生ウィンドウの位置・サイズ・最前面へ移動のルールを設定します。
「デスクトップと同様にする」を有効にしたい場合は、再生ウィンドウとデスクトップのサイズが一致するようになります。

ショートカットキーの設定

- 手順1 VPlayer を開きます。
- 手順2 画面の右上にある  をクリックし、「設定」を選択します。
- 手順3 「ショートカット」を選択します。
- 手順4 再生ウィンドウのショートカットキーの表示・非表示を設定します。
初期ショートカットキーは「Ctrl+H」です。
- 手順5 「確定」をクリックします。


4.5 スケジュールのクリア

ユーザーは端末のダウンロードしたスケジュール関連ファイルを削除できます。ただし、スケジュールを再生している場合は、黒画面になります。

4.5.1 Taurus

- 手順1 ViPlex Express を開きます。
- 手順2 「ターミナルコントロール> モニタ」を選択します。
- 手順3 「コンテンツをすべてクリアする」をクリックします。
- 手順4 「確定」をクリックします。

4.5.2 VPlayer

- 手順1 VPlayer を開きます。
- 手順2 画面の右上にあるをクリックし、「設定」を選択します。
- 手順3 「ダウンロード」を選択し、スケジュールファイルの保存パスを表示します。
- 手順4 スケジュールの入ったフォルダを削除します。

5 スケジュール管理

スケジュールの新規作成や編集、削除、インポート、エクスポート、配信に使用します。

5.1 スケジュールの新規作成

スケジュールを新規作成前にスクリーンのサイズを事前に取得してください。

手順1 「新規作成」をクリックします。

手順2 スケジュール名と解像度を設定し、「確定」をクリックします。

説明：

- 解像度は端末のマッピング幅・高さと一致しなければなりません。
- 解像度は「端末の指定」で設定を行うこともできます。値は選択された端末と同様です。

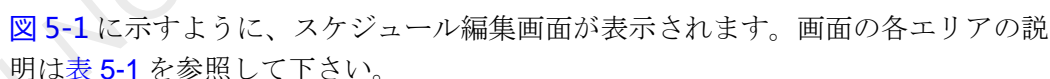
 **図 5-1** に示すように、スケジュール編集画面が表示されます。画面の各エリアの説明は**表 5-1** を参照して下さい。

図5-1 スケジュール編集画面

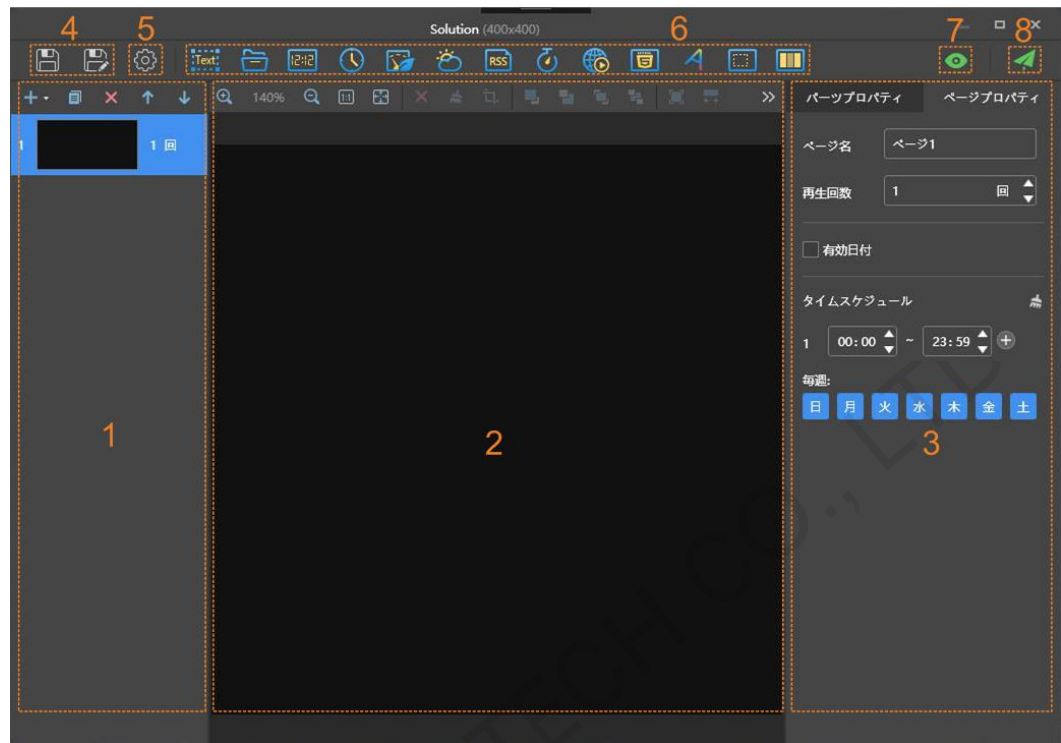







表5-1 スケジュール編集画面









エリア番号	名前	説明
1	スケジュールページの編集エリア	<p>ページの新規作成・コピー・削除、ページ順の調整に使用します。</p> <p>ページを新規作成する2つの方法は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • + をクリックし、空白ページを直接に新規作成します。 • T をクリックし、テンプレートを選択してページを新規作成します。 <p>テンプレートにカスタムテンプレートとシステムテンプレートがあります。ユーザーとしてカスタムテンプレートの追加、変更、削除が行えます。</p> <p>ページは上から下へと順次に再生されます。</p>
2	ページコンテンツの編集エリア	<p>コンテンツの削除・クリアやページのスクーリング、画像カット、コンテンツレイアウトの調整に使用します。操作を行う前に、選択されたコンテンツをクリックする必要があります。</p>
3	プロパティの編集エリア	<p>パッケージプロパティ、ページプロパティの編集に使用します。</p>

エリア番号	名前	説明
		<p>パッケージとは、ページに追加されたコンテンツのことです。パッケージプロパティ編集前に、クリックしてパッケージを選択する必要があります。</p> <p>ページプロパティでは、ページを再生する時間のプランを設定できます。再生プランに他のページと時間帯が重なった場合は、ページ順に上から下へと順次再生されます。この機能は Taurus では対応し、VPlayer では対応しません。</p>
4	保存ボタン	スケジュールを「保存」または「名前を付けて保存」に使用します。
5	設定ボタン	スケジュール名と解像度の設定に使用します。
6	コンテンツ追加ボタン	コンテンツのスケジュールページへの追加に使用します。
7	プレビューボタン	<p>現在スケジュールページのプレビューに使用します。</p> <p> をクリックすると、 (プレビュー終了) と  (最新の情報に更新) ボタンが表示されます。VPlayer がアイドル状態にある場合は、現在のページを直接再生します。VPlayer が使用されている場合は、元スケジュールを 1 時停止すると共に、現在のページが再生され、プレビュー終了後に元スケジュールの再生が再開されます。</p> <p>現在のページから他ページに切り替えてプレビューを行う際は、対象ページを選択し  をクリックします。</p>
8	スケジュール配信ボタン	端末へのスケジュールの配信に使用します。

ViPlex Express が追加に対応するコンテンツタイプは表 5-2 を参照して下さい。

表5-2 コンテンツタイプ

アイコン	説明
	<p>テキスト追加</p> <p>バックグラウンドオーディオの設定に対応しています。</p>
	<p>Office ファイル、画像、ビデオ、GIF の追加。画像はバックグラウンドオーディオの設定に対応しています。</p>

アイコン	説明
	<p>対応画像形式 : JPEG、BMP、GIF、PNG、WEBP</p> <p>端末の対応するビデオ形式 : MPEG-1/2、MPEG-4、H.264/AVC、MVC、H.265/HEVC、Google VP8、H.263、VC-1、Motion JPEG</p> <p>ビデオ形式の端末は非対応の場合、ViPlex Express はスケジュールの配信やエクスポートを行う際は形式変換が自動的に行われます。</p>
	デジタル時計の追加
	アナログ時計の追加
	<p>環境モニタリングコンテンツの追加</p> <p>端末にセンサーを接続している場合は、スケジュール再生時に環境モニタリングコンテンツにセンサーでモニタリングされた最終更新データが表示されます。</p>
	天気コンテンツの追加
	RSS の追加
	<p>タイマーの追加</p> <p>カウントダウンまたはタイマーを設定できます。</p>
	ストリーミングメディアの追加
	ウェブページの追加
	ブックマークの追加
	<p>ウィンドウの追加</p> <p>ウィンドウに上記説明したコンテンツタイプをすべて追加できます。コンテンツを複数追加時に、上から下へと順次に再生されます。</p> <p>バックグラウンドオーディオの設定に対応しています。</p>
	<p>折コンテンツの追加</p> <ol style="list-style-type: none"> ViPlex Express のメイン画面から、「スケジュール管理」を選択します。 対象スケジュールを選択し、スケジュール名をクリックしてスケジュール編集ページに入ります。  をクリックし、折コンテンツをクリックします。 右側にある「パッケージプロパティ」において、「ディスプレイ実際の幅と高さ」を設定することで、現在コンテンツが自動的に折ることになります。

アイコン	説明
	 <p>折コンテンツにテキスト、画像、ビデオ、リアルタイムワードを追加できます。コンテンツを複数追加する場合は、上から下へと再生していきます。</p> <p>非同期端末は折コンテンツにあるビデオの再生に対応しません。</p> <p>縦方向折と横方向折に対応し、折パート数を実際ディスプレイの幅・高さとのマッピングの幅と高さに応じて計算します。</p>

手順3 スケジュールを編集完了後、をクリックしてスケジュールを保存します。

手順4 (任意選択) 現在のスケジュールを配信します。

1. をクリックします。

2. 端末に1つ以上にチェックを付け、「転送」をクリックします。

説明：スケジュール配信中に ViPlex Express では端末の対応しないビデオに対して形式変換が自動的に行われます。

5.2 スケジュールの編集

スケジュールリストにおいて、以下いずれか1つの操作を行うと、スケジュール編集画面に入ります。


- スケジュールにチェックを1つ付け、「編集」をクリックします。
- スケジュール名をクリックします。

5.3 スケジュールの削除

スケジュールリストにおいて、対象スケジュールにチェックを付け、「削除」をクリックします。


5.4 スケジュールのインポート

手順1 「入力」をクリックします。



- 手順2 ポップアップされたダイアログボックスにおいて  をクリックし、パスを選択します。
- 手順3 「次へ」をクリックします。
- 手順4 インポートが完了後、「完成」をクリックします。

5.5 スケジュールのエクスポート

スケジュールにコンテンツを追加しないとエクスポートできません。

- 手順1 スケジュールに1つ以上にチェックを付け、「出力」をクリックします。
- 手順2 ポップアップされたダイアログボックスにおいて  をクリックし、エクスポートのパスを選択します。
- 手順3 「出力」をクリックします。
- 説明：スケジュールをエクスポート中、ViPlex Express では端末の対応しないビデオに対して形式変換が自動的行われます。
- 手順4 エクスポートが完了後、ダイアログボックスを閉じます。


5.6 USB メモリ再生

- 手順1 スケジュールの  をクリックもしくはスケジュールに1つ以上にチェックを付け、「USB メモリ再生」をクリックします。
- 手順2 再生方法を指定します。
- プラグアンドプレイ：スケジュールの入った USB メモリを端末に挿入すると、スケジュールが再生されます。再生中に USB メモリを削除できません。
 - コピーして再生：USB メモリでのスケジュールは端末によってコピー完了後に再生されます。再生中に USB メモリを削除できます。
- 手順3  をクリックし、エクスポートのパスを選択します。
- 手順4 端末のログインパスワードを入力します。
- スケジュールの入った USB メモリを端末に挿入時にパスワードは一致しないとスケジュールを再生できません。
- 手順5 スケジュールを1つ指定し、「確定」をクリックします。
- 手順6 エクスポートが完了後、「完成」をクリックします。

5.7 スケジュール配信

- スケジュールにコンテンツを追加しないと配信できません。
- 1度につき端末に送信できるスケジュールは1つだけです。
- スケジュールは1つ当たり複数の端末に送信できます。

スケジュール編集画面において右上にあるをクリックしてスケジュールを配信できます。スケジュールリスト画面において手順に沿ってスケジュールを配信してください。

手順1 スケジュールに1つチェックを付けて「転送」をクリックもしくはスケジュール情報右側にあるをクリックします。

手順2 ダイアログボックス「リスト転送」において「更新」をクリックし、ログイン済みの端末情報をすべて表示します。

手順3 端末に1つ以上にチェックを付け、「転送」をクリックします。

説明：スケジュール配信中、ViPlex Express では端末の対応しないビデオに対して形式変換が自動的に行われます。

手順4 配信が完了後、「完成」をクリックします。


6 詳細スケジュール

詳細スケジュールはスケジュール機能の1つとして構成されます。ユーザーは詳細スケジュールの新規作成や編集、削除、インポート、エクスポート、配信を行うことができます。

6.1 スケジュールの新規作成

手順1 「新規」をクリックします。

手順2 詳細スケジュール名を入力します。

手順3  をクリックします。

手順4 一般スケジュールを1つ選択し、有効日、リピート方法、再生時間を設定します。

手順5 「追加」をクリックします。

手順6 「キャンセル」をクリックします。

手順7 (任意選択) 「スケジューリング外内容」の右側にあるボックスをクリックし、スケジュールを1つ選択すると共に「確定」をクリックします。

スケジューリングしていない際はスケジューリング外の内容が再生されます。

手順8 「追加」をクリックします。

6.2 スケジュールの編集

詳細スケジュールリストにおいて、以下のいずれかの操作を行うと、スケジュール編集画面に入ります。


- スケジュールにチェックを1つ付け、「編集」をクリックします。
- スケジュール名をクリックします。

6.3 スケジュールの削除

詳細スケジュールリストにおいて、対象スケジュールにチェックを付け、「削除」をクリックします。

6.4 スケジュールのインポート

手順1 「入力」をクリックします。

手順2 ポップアップされたダイアログボックスにおいて  をクリックし、パスを選択します。


手順3 「次へ」をクリックします。

手順4 インポートが完了後、「完成」をクリックします。

6.5 スケジュールのエクスポート

スケジュールにコンテンツを追加しないとエクスポートできません。


手順1 スケジュールに1つ以上にチェックを付け、「出力」をクリックします。

手順2 ポップアップされたダイアログボックスにおいて  をクリックし、エクスポートのパスを選択します。

手順3 「出力」をクリックします。


手順4 エクスポートが完了後、ダイアログボックスを閉じます。

6.6 USB メモリ再生

手順1 スケジュールの  をクリックもしくはスケジュールに1つ以上にチェックを付け、「USB メモリ再生」をクリックします。

手順2 再生方法を指定します。

- プラグアンドプレイ：スケジュールの入った USB メモリを端末に挿入すると、スケジュールが再生されます。再生中に USB メモリを削除できません。
- コピーして再生：USB メモリでのスケジュールは端末によってコピー完了後に再生されます。再生中に USB メモリを削除できます。

手順3  をクリックし、エクスポートのパスを選択します。

手順4 端末のログインパスワードを入力します。


スケジュールの入った USB メモリを端末に挿入時にパスワードは一致しないとスケジュールを再生できません。

手順5 スケジュールを1つ指定し、「確定」をクリックします。

手順6 エクスポートが完了後、「完成」をクリックします。

6.7 スケジュール配信

- スケジュールにコンテンツを追加しないとエクスポートできません。
- 1度につき端末に送信できるスケジュールは1つのみです。
- スケジュールは1つずつ複数の端末に送信できます。

手順1 詳細スケジュールリストにおいて、スケジュールにチェックを1つ付け、「転送」をクリックまたはスケジュール情報の右側にあるをクリックします。

手順2 ダイアログボックスの「リスト転送」において「更新」をクリックし、ログイン済みの端末情報をすべて表示します。

手順3 端末に1つ以上にチェックを付け、「転送」をクリックします。

手順4 配信が完了後、「完成」をクリックします。

7 端末コントロール

7.1 ファクションリスト

ファクション	サブファクション	Taurus LED プレイヤー	Taurus LCD プレイヤー	VPlayer
再生管理	同期再生の表示	✓	✓	
	音量のリアルタイム調整	✓	✓	
	端末スケジュールの管理	✓	✓	
	回転再生の設定	✓	✓	
輝度調整	-	✓		
ビデオソース	-	✓		
スクリーン状態のコントロール	-	✓		
時間同期管理	-	✓	✓	
再起動の構成	-	✓	✓	
色温度	-	✓		
モニタリング	-	✓	✓ (メモリー使用率と CPU 使用率に非対応)	
再生ログ	再生ログの表示	✓	✓	
	再生ログのエクスポート	✓	✓	
フォント管理	フォントの追加	✓	✓	

アクション	サブアクション	Taurus LED プレイヤー	Taurus LCD プレイヤー	VPlayer
	フォントの削除	✓	✓	
ネットワーク構成	ワイヤードネットワークの構成	✓	✓	
	WiFi AP の構成	✓	✓	
	WiFi Sta の構成	✓		
	モバイルネットワークの構成	✓	✓	
	ネットワーク検出の構成	✓	✓	
サーバー構成	VNNOX Standard/AD にバインド	✓	✓	
	iCare にバインド	✓		
端末アップグレード	オンラインアップグレード	✓	✓	✓
	ローカルファイルのアップグレード	✓	✓	✓
電源コントロール	ボード電源	✓	✓	
	多目的カードの電源	✓		
無線周波数管理	-	✓		
センサー	-	✓		
端末情報	-	✓	✓	

7.2 共通機能

「リードバック」ボタンをクリックすることで、端末情報を ViPlex Express にリードバックすると共に表示することができます。

7.3 再生管理

端末の再生方法や音量に対して管理を行います。

7.3.1 同期再生オン

同期再生をオンまたはオフにすることで、端末を再起動します。時間同期管理と無線周波数にも、同期再生のオンオフがあります。

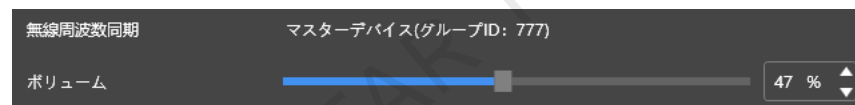
- 手順1 端末リストから対象の端末を選択します。
- 手順2 「同期再生」の右側にある「起用」にチェックを付けます。
- 手順3 ポップアップされたダイアログボックスの「確定」をクリックします。

7.3.2 リアルタイムな音量調整



スクロールバーをドラッグ、または数値を入力して音量を調整します。Taurus が同期していないモードでのみ音量を調整できます。

画面に無線周波数同期の関連情報が表示される際に、[図 7-1](#) の示すように、現在の端末は音量同期を有効にしています。関連操作は「[7.17 無線周波数管理](#)」を参照して下さい。無線周波数同期にはメインデバイスとスレーブデバイスがあり、ユーザーはメインデバイスの音量を設定すると、スレーブデバイスが無線周波数信号によって自動的にメインデバイスの音量と同じになります。

図7-1 無線周波数同期-音量



7.3.3 端末スケジュールの管理

- スクリーンショットの表示：「スクリーンショットを表示する」をクリックし、端末の再生スケジュールのリアルタイムなスクリーンショットを表示します。
- スケジュールの再生：マウスポインタをスケジュールのサムネイルに移動し、をクリックします。
- スケジュールの停止：マウスポインタをスケジュールのサムネイルに移動し、をクリックします。
- スケジュールの削除：スケジュールのサムネイルリストにおいてスケジュールにチェックを付け、「削除」をクリックします。

7.3.4 回転角度の設定

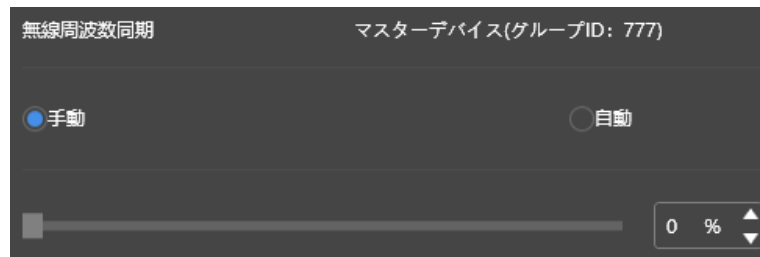
「回転再生」コンボボックスから回転角度を選択します。回転角度は絶対角度となります。

7.4 輝度調整

輝度を手動調整またはスマート輝度調整のルールを設定します。

画面に無線周波数同期の関連情報が表示される際に、[図 7-2](#) に示すように、現在の端末は輝度同期が有効になります。関連操作は「[7.17 無線周波数管理](#)」を参照して下さい。無線周波数同期にはメインデバイスとスレーブデバイスがあり、ユーザーはメインデバイスの輝度を設定すると、スレーブデバイスが無線周波数信号によって自動的にメインデバイスの輝度と同じになります。

図7-2 無線周波数同期-輝度



7.4.1 手動調整

手順1 端末リストから対象の端末を選択します。

手順2 「手動」を選択し、スクロールバーをドラッグか数値を入力してスクリーン輝度を調整します。

7.4.2 スマート調整





- タイマー輝度調整：設定されたオン時間の範囲内にスクリーン輝度は手動設定された固定値となります。
- 自動輝度調整：設定されたオン時間の範囲内にスクリーン輝度は自動輝度調整によって自動調整されます。

自動輝度調整表は環境輝度をいくつかのエクステントに分割し、エクステント毎にそのスクリーン輝度を設定します。スクリーン輝度は現在環境輝度がある範囲内に自動的に調整されます。

手順1 端末リストから対象の端末を選択します。

手順2 「自動」を選択し、スマート調整画面に入ります。

手順3 実際に応じて以下の操作を行います。

- ルールの新規作成： をクリックします。ポップアップされたダイアログボックスから「定時」か「自動」を選択後、その輝度を設定してルールを調整し、「追加」をクリックします。
- ルールの変更：ルールに1つチェックを付けて をクリック後、ルールを変更して「確定」をクリックします。
- ルールの削除：ルールに1つ以上にチェックを付け、 をクリックします。ポップアップされたダイアログボックスで「確定」をクリックします。
- ルールのクリア： をクリックします。ポップアップされたダイアログボックスで「確定」をクリックします。
- ルールの有効化：ルールリストにおいて、「有効・無効」を有効にします。

- 現在輝度の表示：をクリックします。

手順4 構成が完了後、「適用」をクリックします。

7.5 ビデオソース

ビデオ入力モード、ビデオソース、アウトプットオフセット位置のコントロールを行います。

7.5.1 手動切替

内部入力ソースと HDMI 入力ソースをすぐ切り替えます。

手順1 端末リストから対象の端末を選択します。

手順2 「手動」を選択し、パラメータを構成します。





手順3 「アプリケーション」をクリックします。

7.5.2 タイマー切替

内部入力ソースと HDMI 入力ソースを定期的に切り替えます。

手順1 端末リストから対象の端末を選択します。

手順2 「定時」を選択し、実際に応じて以下の操作を行います。

- ルールの新規作成：をクリックします。ポップアップされたダイアログボックスから「内部」または「HDMI」を選択後、ビデオソースを使用する時間やサイクルを設定し、「追加」をクリックします。
- ルールの変更：ルールに1つチェックを付けてをクリック後、ビデオソースを使用する時間やサイクルを変更し、「確定」をクリックします。
- ルールの削除：ルールに1つ以上にチェックを付け、をクリックします。ポップアップされたダイアログボックスで「確定」をクリックします。
- ルールのクリア：をクリックします。ポップアップされたダイアログボックスで「確定」をクリックします。
- ルールの有効化：ルールリストにおいて、「有効・無効」を有効にします。
- パラメータの構成：再生ウィンドウの位置やサイズを設定します。

手順3 「アプリケーション」をクリックします。

7.5.3 HDMI 優先

HDMI 端子を優先し、同期モードでビデオを再生します。

手順1 端末リストから対象の端末を選択します。

手順2 「HDMI 優先」を選択します。

手順3 再生ウィンドウの位置やサイズを設定します。

手順4 設定が完了後、「アプリケーション」をクリックします。

7.6 スクリーン状態コントロール

現在スクリーンの再生状態を設定します。

7.6.1 手動コントロール

手順1 端末リストから対象の端末を選択します。





手順2 「手動」を選択し、手動設定画面に入ります。

手順3 「黒画面」か「ノーマル表示」をクリックします。

7.6.2 タイマーコントロール

手順1 端末リストから対象の端末を選択します。

手順2 「定時」を選択してタイマー設定画面に入り、実際に応じて以下の操作を行います。

- ルールの新規作成： をクリックします。ポップアップされたダイアログボックスで「黒画面」または「正常表示」をクリック後、スクリーンで再生する時間とサイクルを設定し、「追加」をクリックします。
- ルールの変更：ルールに1つチェックを付け、 をクリック後、スクリーンで再生する時間とサイクルを変更し、「確定」をクリックします。
- ルールの削除：ルールに1つ以上にチェックを付け、 をクリックします。ポップアップされたダイアログボックスで「確定」をクリックします。
- ルールのクリア： をクリックします。ポップアップされたダイアログボックスで「確定」をクリックします。
- ルールの有効化：ルールリストにおいて、「有効・無効」を有効にします。

手順3 設定が完了したら、「アプリケーション」をクリックします。

7.7 時間同期管理

端末の時間同期に関するルールの設定、同期再生のオンオフを行います。

手順1 端末リストから対象の端末を選択します。

画面に無線周波数同期の関連情報が表示される際に、[図 7-3](#) に示すように、現在端末は無線周波数時間同期を有効にしています。関連操作は「[7.17 無線周波数管理](#)」を参照して下さい。無線周波数同期にはメインデバイスとスレーブデバイスがあり、ユーザーはメインデバイスの時間を設定すると、スレーブデバイスが無線周波数信号によって自動的にメインデバイスの時間と同じになります。


図7-3 無線周波数同期-時間同期



手順2 端末の現在のタイムゾーンと時間を表示します。

現在のタイムゾーンは夏時間設定にするとその時間帯が該当する場合、画面に「夏時間」が表示されます。設定のない場合は表示されません。

手順3 時間同期ルールを構成します。

- 手動時間同期：コンボボックス「タイムゾーン」からタイムゾーンを選択します。端末ではこのタイムゾーンの日付と時間によって時間同期が行われ、また、ユーザーは必要に応じて現在日付と時間を調整することができます。
- NTP 時間同期：「NTP サーバーに自動同期」にチェックを付けると共に NTP サーバーを選択します。端末では NTP サーバーの時間によって時間同期が行われ、もし既存 NTP サーバーでご満足いただけない場合は、をクリックしてカスタムサーバーの構成を行ってください。

手順4 設定が完了後、「アプリケーション」をクリックします。

7.8 再起動構成

端末を再起動して再起動ルールの構成を行います。

7.8.1 今すぐ再起動

手順1 端末リストから対象の端末を選択します。


手順2 クリック「今すぐ再起動」。




手順3 ポップアップされたダイアログボックスにおいて「確定」をクリックし、瞬時に端末を再起動します。

7.8.2 タイマー再起動

手順1 端末リストから対象の端末を選択します。

手順2 実際に応じて以下の操作を行います。

- ルールの新規作成：をクリックします。ポップアップされたダイアログボックスで端末を再起動する時間とサイクルを設定し、「追加」をクリックします。

- ルールの変更：ルールに1つチェックを付けて  をクリック後、端末を再起動する時間とサイクルを変更し、「確定」をクリックします。
- ルールの削除：ルールに1つ以上にチェックを付け、 をクリックします。ポップアップされたダイアログボックスで「確定」をクリックします。
- ルールのクリア： をクリックします。ポップアップされたダイアログボックスで「確定」をクリックします。
- ルールの有効化：ルールリストにおいて、「有効・無効」を有効にします。

手順3 構成が完了後、「アプリケーション」をクリックします。

7.9 色温度

昼白色や純白、クールホワイトなどディスプレイの再生画面の色温度を設定します。

手順1 端末リストから対象の端末を選択します。

手順2 色温度の種類を選択します。

7.10 モニタリング

手順1 端末リストから対象の端末を選択します。

手順2 端末ハードウェア情報を表示します。以下情報のほかにも、端末に外部記憶装置がある場合は、外部記憶情報も表示できます。

- ハードウェアサイズ
- 使用可能なメモリ
- CPU 使用率
- 環境輝度

手順3 ハードウェアをクリアしたい場合は、「コンテンツをすべてクリア」をクリックし、コンテンツやスケジュールをすべて削除します。

7.11 再生ログ

ログのエクスポートを表示して再生します。

7.11.1 再生ログの表示

手順1 端末リストから対象の端末を選択します。

手順2 表示したい再生ログの時間範囲を選択し、「検索」をクリックします。

手順3 再生ログリストにおいて、ログ名をクリックし、このログの概要情報や詳細を表示します。


7.11.2 再生ログのエクスポート

- 手順1 端末リストから対象の端末を選択します。
- 手順2 再生ログリストにおいて、対象ログにチェックを付けます。
- 手順3 「出力」をクリックします。
- 手順4 ポップアップされたダイアログボックスにおいて、エクスポートのパスや形式を選択します。
- 手順5 「確定」をクリックします。

7.12 フォント管理

端末で使用するフォントの管理を行います。

7.12.1 フォントの追加

- 手順1 端末リストから対象の端末を選択します。
- 手順2 「フォント名」の右側にある  をクリックし、PC ローカルフォントを取得します。
- 手順3 ポップアップされたダイアログボックスで対象フォントにチェックを付けます。
- 手順4 「確定」をクリックします。
- 手順5 「更新」をクリックし、「結果を交信する」からプロセスを表示します。

7.12.2 フォントの削除

- 手順1 端末リストから対象の端末を選択します。
- 手順2 「読み取り」をクリックし、端末フォントをリードバックします。
- 手順3 対象の端末の「フォント」にあるリンクをクリックし、「ターミナルフォントリスト」画面をポップアップします。
- 手順4 対象フォントにチェックを付けます。
- 手順5 「削除」をクリックします。

7.13 ネットワーク構成

ワイヤードネットワークや WiFi AP、WiFi Sta、モバイルネットワークなど現在使用しているネットワークの構成を行います。

7.13.1 ワイヤードネットワークの構成

LAN ケーブルで端末に接続する際に静的 IP アドレスを設定する必要があります。
LAN ケーブルで端末をインターネットに接続時に実際に応じて設定してください。

- 手順1 端末リストから対象の端末を選択します。
- 手順2 「ワイヤードネットワーク構成」において、実際に応じて以下の操作を行います。
 - 「動的 DHCP」の右側にある「起用」にチェックを付け、IP アドレスを自動取得します。
 - 「動的 DHCP」の右側にある「起用」のチェックを外し、静的 IP アドレス情報の構成を行います。
- 手順3 「アプリケーション」をクリックします。

7.13.2 WiFi AP の構成

端末 WiFi AP の初期 SSID は「AP+SN の後ろの数字8桁」、初期パスワードは「12345678」です。

- 手順1 端末リストから対象の端末を選択します。
- 手順2 「プレイヤーAP の構成」において、「AP 状態」をオンにします。
- 手順3 端末 WiFi AP の SSID とパスワードを入力します。
- 手順4 「アプリケーション」をクリックします。


7.13.3 WiFi Sta の構成

ルーターはインターネットに接続している場合は、WiFi Sta の構成が完了後、端末ではこのルーターによってインターネットにアクセスできます。

- 手順1 端末リストから対象の端末を選択します。
- 手順2 「WiFi 設定」において、「WiFi」をオンにします。
- 手順3 ルーターの WiFi 情報をダブルクリックし、パスワードを入力して「確定」をクリックします。

7.13.4 モバイルネットワークの構成

4G モジュールを持つ端末では、モバイルデータネットワークによってインターネットにアクセスできます。ViPlex Express においてモバイルネットワーク状態が自動的に検出されるとともに、検出結果が表示されます。

- 手順1 4G カードをスロットに挿入します。
- 手順2 端末リストから対象の端末を選択します。
- 手順3 「ネット設定」において、「モバイル」をオンにします。
- 手順4  をクリックして APN 構成画面を開きます。
- 手順5 「追加」をクリックします。
- 手順6 通信キャリアによって提供される APN 情報に基づきパラメータを記入し、「確定」をクリックします。
- 手順7 APN の履歴を選択し、「接続」をクリックします。

7.13.5 ネットワークチェックの構成

デフォルトでは、端末は ping クラウドプラットフォームと www.baidu.com を通じてネットワークの接続状態をチェックします。ユーザーは ping が必要なアドレスの構成を行い、そのアドレスを有効・無効にすることができます。

手順1 端末リストから対象の端末を選択します。

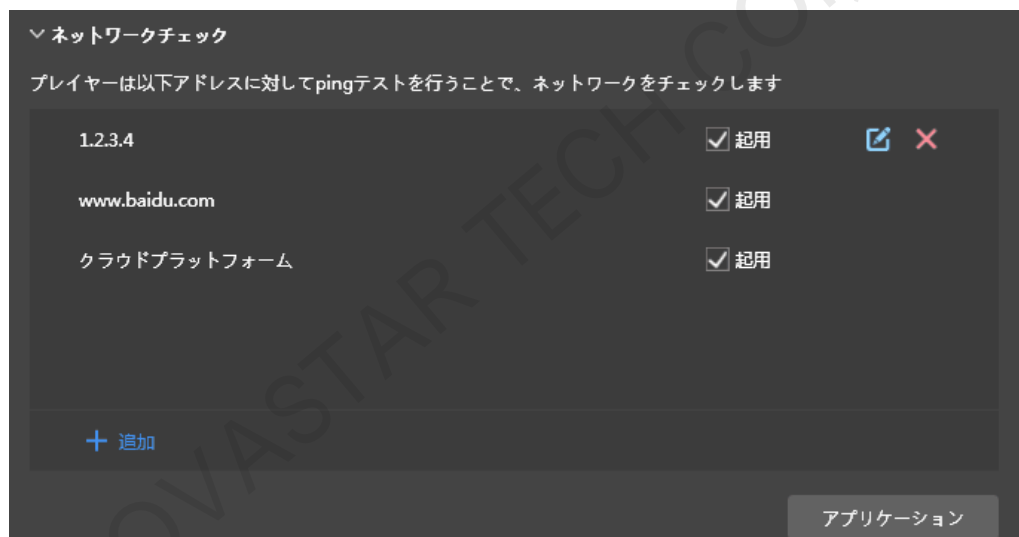
手順2 「ネットワークチェック」においてチェックするアドレスの構成を行います。

 をクリックし、アドレスを追加します。

 をクリックし、アドレスを変更します。

 をクリックし、アドレスを削除します。

デフォルト構成を変更したり削除できません。



手順3 チェックするアドレスを有効・無効にします。

「有効」にチェックを付け、そのアドレスに対し ping を行って端末のネットワークをチェックします。


「有効」のチェックを外し、そのアドレスに対し ping を行って端末のネットワークをチェックしません。

手順4 「適用」をクリックします。

7.14 サーバー構成

VNNOX サービスと iCare サービスに接続し、構成を行うときは認証情報を入力しなければなりません。

認証情報の表示：

VNNOX (www.vnnox.com) にログインし、クラウドプラットフォームのホームページで「 > プレイヤー認証」を選択します。

7.14.1 VNNOX Standard/AD にバインド

端末では VNNOX Standard/AD にバインドし非同期プレイヤーを新規作成することができます。

- 手順 1 端末リストから対象の端末を選択します。
- 手順 2 「VNNOX プラットフォームをバインドするパラメータの構成」でサーバーを選択し、認証ユーザー名を、認証パスワード、プレイヤー名を入力します。認証情報は VNNOX に表示されるのと同じでなければなりません。
- 手順 3 「バインド」をクリックします。

7.14.2 iCare にバインド

端末は iCare にまで登録します。

- 手順 1 端末リストから対象の端末を選択します。
- 手順 2 「iCare プラットフォームをバインドするパラメータの構成」からサーバーを選択し、ユーザー名を入力します。
- 手順 3 「バインド」をクリックします。

7.15 端末アップグレード

- Taurus : アプリケーションソフトウェアとシステムソフトウェアバージョンのアップグレードが行われます。
- VPlayer : VPlayer バージョンのアップグレードが行われます。

注意 : アップグレード中に電源を切らないで下さい。また、途中で端末が再起動されることがあります。

7.15.1 オンラインアップグレード

端末バージョンのオンラインアップグレード。操作を行う前に PC からインターネットへのアクセスに異常がないか確保してください。

- 手順 1 「オンラインアップグレード」を選択します。

端末にアップグレードが必要かどうか自動的に判定されます。

- はい。現在バージョン情報と **もっと** を表示し、[図 7-4](#) 所に示すように、[手順 2](#) に沿って実行します。
- いいえ。現在バージョン情報のみ表示され、操作が完了します。

図7-4 オンラインアップグレード



手順2 「もっと」をクリックし、新バージョンの関連情報を表示します。

手順3 端末情報リストに1つ以上チェックを付けると端末のアップグレードが行われます。その際は「アップデート」をクリックします。

画面にアップグレード進行状況が表示されます。

7.15.2 ローカルファイルアップグレード

ローカルファイルアップグレードによって端末バージョンのアップグレードが行われます。

手順1 「ローカルファイルのアップグレード」を選択します。

手順2 アップグレードパッケージのパスを選択します。

手順3 端末情報リストで1つ以上にチェックを付けて端末のアップグレードが行えます。その際は「アップデート」をクリックします。

画面にアップグレード進行状況が表示されます。

7.16 電源コントロール

ボード電源の構成、デバイス電源のオンオフ、電源のタイマーコントロールの設定を行います。

- ボード電源：端末にあるリレーによって電源の操作を行います。
- 多目的カード電源：多目的カードにあるリレーによって電源の操作を行います。

ViPlex Expressにある電源スイッチはオンにしている際は、リレーが引き合っで電気が通じ、オフにしている際はリレー離れ、電気が切断されます。

7.16.1 ボード電源の構成

ボード電源の構成をすることで、VNNOXはボード電源に接続するデバイスに対し電源コントロールを行えるようになります。

手順1 端末リストから対象端末を選択します。

手順2 コンボボックスからコントロールしたい対象を選択します。現在スクリーン電源にしか対応できません。

手順3 「適用」をクリックします。

7.16.2 手動コントロール

手順1 端末リストから対象の端末を選択します。

手順2 「手動」を選択し、手動設定画面に入ります。

手順3 電源スイッチをオンにします。

多目的カード電源情報は、[図7-5](#)を参照して下さい。

図7-5 多目的カード電源



緑ボックスにあるタグは NovaLCT でカスタマイズされており、リレー電気回路に 1 回路か数回路関連付けられます。複数回路の場合は、回路をいずれもオン（もしくはオフ）にしている場合は、画面に「オン」（もしくは「オフ」）が表示されます。または画面に「異常」が表示され、各回路の詳細情報が表示されます。

7.16.3 タイマーコントロール

手順1 端末リストから対象の端末を選択します。

手順2 「定時」を選択してタイマー設定画面に入り、実際に応じて以下の操作を行います。

- ルールの新規作成： をクリックします。ポップアップされたダイアログボックスでコントロールの対象や時間、サイクルを設定し、「確定」をクリックします。
- ルールの変更：ルールに 1 つチェックを付けて をクリック後、コントロールルールを変更して「確定」をクリックします。
- ルールの削除：ルールに 1 つ以上にチェックを付けて をクリックします。ポップアップされたダイアログボックスで「確定」をクリックします。
- ルールのクリア： をクリックします。ポップアップされたダイアログボックスで「確定」をクリックします。
- ルールの有効化：ルールリストにおいて、「有効・無効」を有効にします。

手順3 設定が完了したら、「アプリケーション」をクリックします。

7.17 無線周波数管理

無線周波数同期の関連パラメータを設定すると共に、それを時間同期や輝度同期、音量同期、環境モニタリングデータ同期、同期再生のオンオフに利用します。

Taurus 製品は-4G モデル以外は無線周波数管理に対応できます。

無線周波数同期を利用する前に、無線周波数モジュールのインストールが必要です。ViPlex Express によって無線周波数モジュール状態が検出され表示されます。

手順1 端末リストから対象の端末を選択します。

手順2 「無線周波数同期」をオンにします。

手順3 現在端末をメインデバイスかスレーブデバイスにします。

手順4 グループ ID の設定を行います。

スレーブデバイスにメインデバイスのグループ ID を入力すれば、このメインデバイスと共に同じグループに区分されます。

手順5 適用したい無線周波数同期にチェックを付けます。

無線周波数同期を適用後、スレーブデバイスは無線周波数信号によってメインデバイスの時間や、輝度、音量、環境モニタリングデータと一致するようになります。

手順6 「アプリケーション」をクリックします。

7.18 センサー

センサー情報の設定を行うことで、端末はセンサーによって環境モニタリングデータを採取できます。

画面に無線周波数同期の関連情報が表示される際に、[図7-6](#)に示すように、現在端末は環境モニタリングデータ同期を有効にしています。関連操作は「[7.17 無線周波数管理](#)」を参照して下さい。無線周波数同期にはメインデバイスとスレーブデバイスがあり、ユーザーはメインデバイスのセンサーを設定すると、スレーブデバイスが無線周波数信号によって自動的にメインデバイスの環境モニタリングデータと同じになります。

図7-6 無線周波数同期-環境モニタリングデータ



手順2 端末リストから対象の端末を選択します。

手順3 センサーのモデルソースを選択します。NovaStar か Nenghui のセンサーにしか対応できません。

手順4 センサー種別を選択します。

- NovaStar : 輝度、温度
- Nenghui : ノイズ、温度、湿度、気圧、風力/風速、風向、PM2.5、PM10、CO₂、輝度

手順5 構成が完了したら、「アプリケーション」をクリックします。

7.19 端末情報

端末 MAC アドレスや IP アドレス、システムソフトウェアバージョン、製品モデル、アプリケーションソフトウェアバージョン情報を表示します。

8 システム設定


画面の右上にある  をクリックし、必要なメニューをクリックします。

表8-1 システム設定

メニュー	説明
言語	システムで使用する言語の設定を行います。
無線周波数管理	無線周波数時間同期モードを有効にする際にスタンダードデバイス以外の端末に対して再生管理を行います。 操作を行う前にパスワード「admin」を入力する必要があります。
カスタマイズサーバー	カスタムサーバーの追加・変更・削除を行います。 VNNOX サービスとの接続や iCare サービスのとの接続、NTP 時間同期の機能画面設定を行うときは、ユーザーはカスタマイズしたサーバーを選択できます。
設定	<ul style="list-style-type: none">ViPlex Express のプロファイルやデータ、仮ファイルなどファイルを保存するパスの設定を行います。端末の自動再接続機能をオンまたはオフにし、再接続間隔の設定を行います。
更新検出	ViPlex Express の最新バージョン情報を表示し、バージョンのオンラインアップデートを行います。
ヘルプ	ソフトウェアに付属のユーザー情報を表示します。
関連	ViPlex Express バージョン、NovaStar Tech 公式サイトを表示します。

9 オーディオ・ビデオのデコード仕様

9.1 画像

種別	エンコード・デコード	サイズ	形式	備考
JPEG	JFIF file format 1.02	48x48 pixels～ 8176x8176 pixels	JPG、JPEG	不支持非隔行扫描 SRGB JPEG 対応 Adobe RGB JPEG 対応
BMP	BMP	制限なし	BMP	N/A
GIF	GIF	制限なし	GIF	N/A
PNG	PNG	制限なし	PNG	N/A
WEBP	WEBP	制限なし	WEBP	N/A

9.2 オーディオ

種別	エンコード・デコード	チャンネル	ビットレート	サンプリングレート	形式	備考
MPEG	MPEG1/2/2.5 Audio Layer1/2/3	2	8kbps～ 320Kbps、CBR と VBR	8KHZ～ 48KHz	MP1、 MP2、 MP3	N/A
Windows Media Audio	WMA Version 4/4.1/7/8/9、 wmapro	2	8kbps～320Kbps	8KHZ～ 48KHz	WMA	WMA Pro・ロス レス・MBR 非対 応
WAV	MS-ADPCM、 IMA-ADPCM、 PCM	2	N/A	8KHZ～ 48KHz	WAV	4bit MS- ADPCM・IMA- ADPCM 対応

種別	エンコード・デコード	チャンネル	ビットレート	サンプリングレート	形式	備考
OGG	Q1~Q10	2	N/A	8KHZ~48KHZ	OGG、OGA	N/A
FLAC	Compress Level 0~8	2	N/A	8KHZ~48KHZ	FLAC	N/A
AAC	ADIF、ATDS Header AAC-LC and AAC-HE、AAC-ELD	5.1	N/A	8KHZ~48KHZ	AAC、M4A	N/A
AMR	AMR-NB、AMR-WB	1	AMR-NB 4.75 ~ 12.2kbps@8kHz AMR-WB 6.60~23.85kbps@16kHz	8KHZ、16KHZ	3GP	N/A
MIDI	MIDI Type 0/1、DLS version 1/2、XMF and Mobile XMF、RTTTL/RTX、OTA、iMelody	2	N/A	N/A	XMF、MXMF、RTTTL、RTX、OTA、IMY	N/A

9.3 ビデオ

種別	エンコード・デコード	解像度	最大フレームレート	最大ビットレート (望ましい状態)	形式	備考
MPEG-1/2	MPEG-1/2	48x48 pixels~1920x1080 pixels	30fps	80Mbps	DAT、MPG、VOB、TS	Field Coding 対応
MPEG-4	MPEG-4	48x48 pixels~1920x1080 pixels	30fps	38.4Mbps	AVI、MKV、MP4、MOV、3GP	MS MPEG4 v1/v2/v3 非対応 GMC 非対応
H.264/AVC	H.264	T3&T6&TB3&TB4&TB6&TB8 : 48x48 pixels~4096x2304	T3&T6&TB3&TB4&TB6&TB8 : 4K@25fps、	T3&T6&TB3&TB4&TB6&TB8 : 100Mbps 他モデル :	AVI、MKV、MP4、MOV、3GP、TS、FLV	Field Coding 対応 MBAFF 対

種別	エンコード・デコード	解像度	最大フレームレート	最大ビットレート (望ましい状態)	形式	備考
		pixels 他モデル： 48×48 pixels～ 1920×1080 pixels	1080P@60fps 他モデル： 1080P@60fps	57.2Mbps		応
MVC	H.264 MVC	48×48 pixels～ 1920×1080 pixels	60fps	38.4Mbps	MKV、TS	Stereo High Profile のみ 対応
H.265 /HEV C	H.265/ HEVC	T3&T6&TB3&TB 4&TB6&TB8： 64×64 pixels～ 4096×2304 pixels 他モデル： 64×64 pixels～ 1920×1080 pixels	T3&T6&TB3& TB4&TB6&TB 8： 4K@60fps、 1080P@60fps 他モデル： 1080P@60fps	T3&T6&TB3& TB4&TB6&TB 8：100Mbps 他モデル： 57.2Mbps	MKV、MP4、 MOV、TS	Main Profile 対応 Tile & Slice 対応
GOO GLE VP8	VP8	48×48 pixels～ 1920×1080 pixels	30fps	38.4 Mbps	WEBM、MKV	N/A
H.263	H.263	SQCIF (128×96)、 QCIF (176×144)、 CIF (352×288)、 4CIF (704×576)	30fps	38.4Mbps	3GP、MOV、 MP4	H.263+非対 応
VC-1	VC-1	48×48 pixels～ 1920×1080 pixels	30fps	45Mbps	WMV、ASF、 TS、MKV、 AVI	N/A
MOTI ON JPEG	MJPE G	48×48 pixels～ 1920×1080 pixels	30fps	38.4Mbps	AVI	N/A

説明：データ出力形式は YUV420 semi-planar に対応、H.264 は YUV400 (シングルカラー) にも対応
です。

著作権は © 2019 Xi'an NovaStar Tech Co., Ltd. が所有しています。無断複写または転載を禁じます。

当社の書面による許可なしに、この文書の内容の一部またはすべてをコピー並びに複製することを禁止します。また、いかなる形式でも送信することを禁止します。

ブランドステートメント

NOVA STAR はNovaStarの登録商標です。

ステートメント

Xi'an NovaStar Tech Co., Ltd. (以下はNovaStarという) の製品をご利用いただき誠にありがとうございます。この文書が、お客様の製品の理解と使用の助力となり便利になることを期待しております。文書の作成において正確かつ信頼できるものであるよう努めておりますが、予告無く変更になる場合があります。何卒ご了承ください。ご利用中にご意見またはご質問等がありましたら、記載した連絡先までご連絡ください。当社がご利用中にあったご不明な点について対応し、ご意見については謝意を

公式サイト
www.novastar.tech

技術サポート
support@novastar.tech